

「DX」の用語
解説ではありません！

デジタル技術×アイデア＝新しい価値の創造

新たな価値・商品・サービスを生み出した変革事例に学ぶ

どのようなデジタル技術を用いて、アイデアを事業化したのか、そのプロセスやブレイクスルーについて解説

新規事業の創出、既存事業の変革に取り組む際のポイントについて解説

日時：2021年12月13日(月) 14:00～17:00

会場：L'AUBE Kasumigaura(土浦市川口2-11-31) 参加費：無料

DX(Digital Transformation)＝既存の業務運営の中にデジタル技術を取り入れて効率化すること、と混同されることも多く、本来の意味であるデジタル技術を用いて、ビジネスモデルや製品・サービスをより付加価値の高いもの、新たな価値を生み出すことが強く求められています。

本セミナーでは、DXの概念の把握ではなく、実際にデジタル技術を用いて、新規事業の創出および既存事業の変革を実現させた事例に学びます。アイデア段階から事業化するまでのプロセスとブレイクスルーの方法の解説、また新規事業創出より難しいとされる既存事業の変革を新たな技術を用いることで実現させた事例の解説を、御二方の講師より講演頂きます。

対象：経営者または経営幹部候補社員(講義30+30=60分+ワーク)

- ・令和の時代、(昭和)モデルのままでは令(ゼロ)になる
- ・これからの成長の持続可能性の高いビジネスモデルとは
- ・ユーザーの体験>>>デジタル技術×アイデア＝新しい価値
- ・世界は第2フェーズ、企業経営の加速度成長と顧客総取り時代へ
- ・地方・中央・中小・大手は関係ない新経営にマストな思考

【講師】 **株式会社HONNOW**
代表取締役 **谷村紀明氏**

(クリエイティブディレクター/アートディレクター)
1988年、京都生まれ。外資系広告代理店を経て、2019年11月株式会社HONNOW(ホンノウ)を設立。ブランディング、プロモーション活動におけるコンセプト開発、コミュニケーションデザインなど、クリエイティブディレクション全般を得意領域とする。また、社会問題解決事業やパブリックヘルスケアコンサルティングなどのクリエイティブを担当。その他にも、日本発”もののけアーティスト”として、もののけや妖怪をモチーフとしたアート作品で活動中。国内・国外の広告賞多数受賞。Lürzer's ARCHIVE 200 Best Illustrators worldwide に選出。

【新たな価値創造事例】

【WASHABLE BOOK】～テクノロジーとアイデアで発展途上国におけるノンバーバルコミュニケーションを生み出した～

Washable Bookは手洗いの大切さを途上国の子どもたちに教える「読む絵本」ではなく「石けんで洗って学べる絵本」である。特殊な印刷技術をもちいており、ページ上のキャラクターの汚れた手を石けんを使って洗うと、そのキャラクターたちのカラフルな未来が浮かび上がる。手洗い習慣を根付かせることで病気を予防し、子どもたちの未来の夢を守る、全く新しい絵本。途上国では識字率が低いというハードルがあり、教育ツールの普及が難しい。だからこそ、文字で手洗いの意義を説明するのではなく、絵本を石けんで洗う「行動」と、特殊な印刷によって、未来の絵が浮かび上がるというノンバーバルなコミュニケーションにこだわった。

【講師】 **株式会社成島**
代表取締役 **成嶋祐介氏**

古いものと新しいものをつなげる会社。
株式会社成島は1925年創業。4代目社長である成嶋祐介氏は、事業再建を図るため、創業以来守り続けてきた鞆、乳母車、雑貨などの不採算商品の販売から撤退し、節句人形専門店として再スタートを切る。土浦市真鍋に店舗・配送センターを新築し、店頭とインターネットの両方に対応可能な販売体制を整えた。デジタル生産管理。EC通販18年。特許6796900号 人形の製造方法。・(社)深州市越境EC協会日本支部 代表理事・茨城県庁 ネットいばらき企業・長野県庁 おためし長野認定・(株)HONNOW CCT・(株)ジブンハウス アドバイザー・(株)日本ビジネスプレス autograph CCT・(株)シェリー 顧問・(株)south メンバー

【新たな価値創造事例】

【在庫管理、顧客情報の一元化、短納期化を実現】～既存の発想に囚われず、顧客のニーズをデジタル技術で応えていく～

自社で対応できない配送業務は物流専門会社に外注するとともに、QRコードと作業トラッキングを活用した厳密な在庫管理、繊細な人形を守るための厳重な梱包を行う。全社員がクレームを共有できる顧客情報システムなど、戦略的に社内体制を整え、顧客が注文してから商品到着までに通常4～5日掛かっていた国内商品配送体制を、午前11時までの注文については当日発送できるように変革させた。

【極楽浄土AR】 ～檀家と寺のつながりを強化させる新しい法話のあり方への挑戦～

極楽浄土ARは、極楽浄土の哲学をAR技術で可視化した「見える法話」です。本堂内陣の阿弥陀如来像や彫刻が持つ歴史や役割を、視覚的に表現することで、法話で語られる世界への深い理解を促す。檀家と寺のつながりを強くすることを目的に、新しい法話の在り方を模索し、かたちにした。普段は立ち入らない本堂の内陣の阿弥陀如来像や彫刻に対し法話の中で極楽浄土の哲学をAR技術で可視化し、伝えることで「見える法話」として実現します。観光客が訪れるお寺ではクリエイティブによる施策が一般的になってきてる一方で、地域のお寺に関しては、デザインによって与えられるべき本来の力が生かされてないことが現状です。地域の寺だからこそできること、その可能性を日本の地域のお寺や世界へ発信する。

【ゴムゴムのマスクイヤーガード】 ～感染症の拡大防止に貢献し、ポジティブな日常を作っていきたい～

世界的なパンデミックを受け、マスクの着用はもはや必須とも言える社会へと変化してしまいました。しかし、長時間マスクを身につけることによる、耳への負担が気になっている人も多いのではないのでしょうか。マスクの着用は決して楽しい行為ではないため、子どもがつけたがらないといったケースも散見されます。このように、マスクの着用は心身に小さくないストレスを与えてしまっています。『ONE PIECE』のフィギュア制作を行う“ZERO STUDIO”と、クリエイティブエージェンシー“HONNOW”が、ルフィをモデリングした“ゴムゴムのマスクイヤーガード”を開発！どこでも、誰でも、簡単に出力可能。

【インターネット販売を主力に】 ～店舗での対面販売からインターネット上での信頼を積み重ね、販売の主力を転換した～

通販サイト内での出品数は、工芸品なのに25000SKU圧倒的な品揃えを誇る。手ごろな価格設定+高品質という点において評価され、社長に就任当初は5000万円だった売上は11億円までに増加。大手玩具会社の「タカラトミー」や、大手人形メーカーの「久月」とのコラボ商品も手掛けるなど、積極的に商品企画を行い、同業他社との差別化を図る。のショッピングサイトには、1日あたり合計30万件ものアクセスがあり、海外から注文を受けることもある。オンライン店舗である「人形屋ホンポ」は、楽天年間MVP ショップ・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、業界の先駆けとして、DX(既成のビジネスモデルをデジタルの技術で変革させた)を加速させている。一昨年より、製造に参入し、西松屋、イオン、トイザらス、久月、吉徳などへ納品逆流開始。

【海外への販路拡大】 ～国内市場だけではなく、グローバル市場を見据えた販売戦略の構築～

非言語販売、ショートムービーによる海外向け販売を立案。従来型の海外の人が母国語でホームページを閲覧でき、販売価格を関税や輸送費込みで分かりやすく表示し、現地通貨で決済できるようにしたもののからバージョンアップ。

申込方法：入力フォーム(GoogleForms)もしくは**下記申込書**にて必要事項を12月6日(月)までに送信をお願い致します。

◎茨城経協ホームページ→トップタブ「事業予定表」クリック→「2021年12月」→googleformsよりお申込み下さい。
「お申し込みフォーム」のURLはコチラ

<https://forms.gle/2tNRiaooZPErXgxq5>



【申込書】(12月13日)(E-mail gotou@ikk.or.jp までお送り下さい。)

会社名		E-mail	
役職名		ご氏名	
デジタル技術、アイデアの創出に関する事、新しい価値の生み出し方に関する事、新規事業の創出、既存事業の変革に関する事など、講師にお聞きしてみたいことをご記入下さい。			

※参加票は発行致しません。当日、直接会場にお越し下さい。

[本件担当] 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp
〒310-0801 茨城県水戸市桜川 2-2-35 11階